

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度: 令和6年度)

事業計画調査（目的設定、中間計画、事後計画）				（計画年度：令和6年度）			
政策	1 産業・雇用戦略						
目指す姿	3 歴史と風土に培われた地域産業の活性化						
施策の方向性	④ 建設産業の振興						
事業名	インフラDX推進事業				事業年度	R6	年度～ 年度
						R7	
部局名	建設部		課室名	技術管理課			
チーム名	積算管理・建設DXチーム						

1 事業実施の背景及び目的

建設業従事者の減少や高齢化が進む中、建設現場の生産性向上や働き方改革の更なる推進が必要となっているため、ICT活用工事の普及による建設現場の生産性向上や、現場事務作業のバックオフィス化による業務効率化に向けた支援を行う。

2 事業概要及び財源

(単位: 千円)

	事業内訳	概要	令和6年度 予算額	令和5年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	インフラDX推進事業	建設業従事者の減少や高齢化が著しい本県において、建設現場の生産性向上・業務効率化等を図る。	15,000		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	15,000	0	0
国庫補助金	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金		15,000		
県債					
その他					
一般財源			0	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	ICT活用工事の実施率(%)【成果指標】									
指標式	(ICT活用工事件数/県発注の土量数量1,000m3以上の工事件数) × 100									
出典	技術管理課調べ									
把握時期	翌年度5月									
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
目標a								55	60	
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)